

No. 23-61

演題：産業用ロボット設備に活用できる機能安全 講習会
協賛：日本電機工業会,安全工学会,エンジニアリング協会,化学工学会,軟包装衛生協議会,日本機械工業連合会,日本鍛圧機械工業会,日本金属プレス工業協会,日本高圧力技術協会,日本工作機械工業会,日本食品機械工業会,日本信頼性学会,日本製パン製菓機械工業会,日本非破壊検査協会,日本プラントメンテナンス協会,日本包装技術協会,農業食料工学会,腐食防食学会

開催日：2023年7月28日(金曜日)10:00~17:00

会場：日本機械学会事務局第1会議室

所在地：〒162-0814 東京都新宿区新小川町4番1号 KDX 飯田橋スクエア2階

参加者：正員7名, 学生員0名, 特別員5名, 協賛団体一般1名, 会員外34名, 一般学生1名, 講師(司会含めて)

の皆様6名, 計54名

主旨：

狙い

- ・工業高校、高専、理工系大学における安全基礎教育講座として。
- ・新入社員への安全の基礎および技術者倫理の教育機会として。
- ・中堅、シニア技術者の安全技術再確認および内省の機会として。

概要

概要

2023年は、機能安全に関わる2つの大きな規格の更新がある。一つは産業機械の安全回路設計の基礎となるISO 13849-1と二つ目は協働ロボットを含む産業ロボットを使用した設備の安全規格ISO 10218-2である。今年安全講習会では、これらの2つの規格の更新について、それぞれの規格運営を行っている日本を代表する委員からその内容を解説頂く。また、同様に北米マーケットについても、産業機械やロボットについての機能安全の動向についても、業界を代表するエンジニアから解説を頂く。またISO 13849-1の運用に有用な無料ソフトSISTEMAの概要を紹介する。1日という限られた時間ではあるが、最先端の情報を持つエンジニアの方々からの解説を安全の啓蒙活動として提供したい。

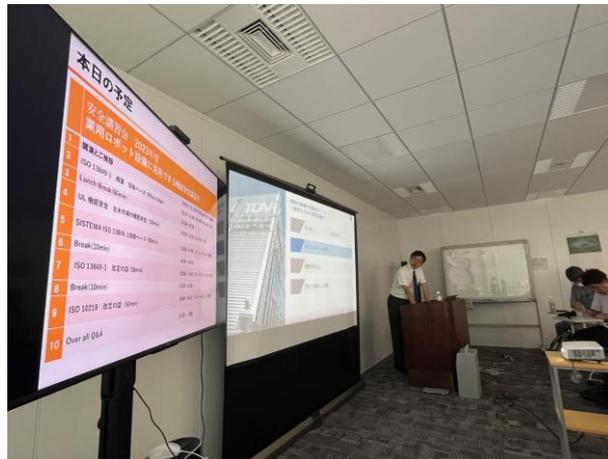
演題詳細：

司会：テュフズードジャパン株式会社 ビジネスデベロップメント・機能安全担当 浅井
産業用ロボット設備に活用できる機能安全 講習会
1. 挨拶 (10min)、司会 テュフズード浅井
2. ISO 13849-1 概要 旧版ベース (80min Max) : テュフズード 工藤
3. Lunch Break(60min)
4. UL 機能安全 北米市場の機能安全 (50min) : UL 今村、竹市
5. SISTEMA ISO 13849-1 旧版ベース (90min) デン ソーウェーブ橋本
6. Break(10min)
7. ISO 13849-1 改定の話 (50min) : テュフライ ンランド杉田
8. Break(10min)
9. ISO 10218 改定の話 (50min) : デンソーウェーブ 橋本
Over all Q&A (30min) : 全員

アンケート結果：

回答の大多数で満足を得ていただいたことが分かった。今回は、ロボット規格改定及び機能安全規格の改定という旬のタイミングのため、参加できない不満もあったかと思う。次回はより情報が見えてきた状態となるので、さらなる熱意を持ってもらえるコンテンツを提供したい。

写真：



1) ISO 13849-1 概要



2) 受講者の様子(前から)



3) 講師一同

所見： 今年、3年ぶりの対面でのセミナー開催となった。講師陣のおかげで予想通りの満員御礼となった。全体としては85%以上の満足を示しており、内容としては問題なく進めることができた。次回は年2回開催や2か所開催も視野に入れる。